

個別事業評価調書 (普通建設事業・ソフト事業)

課名：	上下水道課	班名：	下水道班	担当者名：	松本 明久					
事業進捗状況・達成度	成果指標 (目標達成度を図るための指標)	名称・内容等		単位	2	3	4	5	6	
		接続人口	目標	人	7,900	8,000	8,100	8,200	8,300	
			実績	人	7,811	7,968				
			達成率	%	98.9	99.6	0.0	0.0	0.0	
		普及率	目標	%	30.3	30.8	31.3	31.8	32.3	
			実績	%	30.5	30.5				
			達成率	%	100.7	99.0	0.0	0.0	0.0	
		活動指標 (目標達成のために行う活動実績)	名称等		単位	2	3	4	5	6
			補助金一覧、市報での情報発信	目標	回	2	2	2	2	2
				実績	回	2	2			
	目標									
	実績									
事業費の推移	財源内訳	年度	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(予算)	R5年度	R6年度			
		直接事業費	46,450	50,307	63,090	63,090	63,090			
		国庫支出金	17,060	17,893	22,765	22,765	22,765			
		県支出金	9,538	10,735	13,658	13,658	13,658			
		地方債								
		その他特財								
	一般財源	19,852	21,679	26,667	26,667	26,667				
	財源内訳	年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度			
		直接事業費	63,090	63,090	63,090	63,090	63,090			
		国庫支出金	22,765	22,765	22,765	22,765	22,765			
県支出金		13,658	13,658	13,658	13,658	13,658				
地方債										
その他特財										
一般財源	26,667	26,667	26,667	26,667	26,667					
財源内訳	年度	R12年度	R13年度	全体事業費						
	直接事業費	63,090	63,090	直接事業費	727,657					
	国庫支出金	22,765	22,765	国庫支出金	262,603					
	県支出金	13,658	13,658	県支出金	156,853					
	地方債			地方債	0					
	その他特財			その他特財	0					
一般財源	26,667	26,667	一般財源	308,201						

基本事項	事業名	合併処理浄化槽設置整備事業	整理番号	
	事業区分	20 合併浄化槽	実施義務	
	根拠法令等	沓崎市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱		
総合計画区分	【基本目標4】自然・歴史文化が調和した持続可能な社会基盤が整っている			
	<1>循環型社会の構築			
	④下水・し尿の適正な処理			
事業の対象・目的・内容	事業の背景(課題・市民の要望等)	本市で発生する生活排水については、生活排水処理施設の整備を推進するとともに、住民に対して生活排水対策の必要性等について啓発を行うことにより、公共用水域の水質の改善を図り、快適な生活環境と水環境を創出していくものとする。		
	内容及び目的	沓崎市内の集合処理区域外で、合併処理浄化槽を設置しようとする設置者へ補助金を交付する。合併処理浄化槽によるし尿と生活排水の適正な処理を図り、生活環境の改善及び公衆衛生の向上に寄与する。		
	目標達成のための具体的手段・方法	合併処理浄化槽設置工事費の一部補助。 5人槽 …… 51万3千円 6～7人槽 …… 57万4千円 8～10人槽 …… 66万5千円 11～20人槽 …… 123万5千円 21～30人槽 …… 147万2千円 31～50人槽 …… 203万7千円 51人槽以上 …… 232万6千円 沓崎市補助金一覧、市報、市HPでの周知		
年度別事業概要	R2年度	5人槽 23件、6～7人槽 30件、8～10人槽 6件、11～20人槽 9件、21～30人槽 0件、31～50人槽 0件、51人槽以上 1件 合計 69件		
	R3年度	5人槽 33件、6～7人槽 32件、8～10人槽 4件、11～20人槽 10件、21～30人槽 0件、31～50人槽 0件、51人槽以上 0件 合計 79件		
	R4年度	5人槽 30件、6～7人槽 50件、8～10人槽 10件、11～20人槽 10件、21～30人槽 0件、31～50人槽 0件、51人槽以上 0件 合計 100件		
財源情報	予算科目	04 款 02 項 04 目 02 大 00 中 00 小 00 細	事業番号	05137 合併処理浄化槽設置整備費
	財源名称	国庫支出金	循環型社会形成推進交付金	補助率 1/2
		県支出金	長崎県浄化槽設置整備事業補助金	補助率 1/3*0.9
		地方債		充当率
その他特財		補助率		
判定	コメント及び合否		合否	合・否

【1次評価】

総合自己評価（所管部署）

事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）		総合自己評価（所管部署）	
必要性	①市民ニーズや社会環境の変化に照らして、事業の必要性が薄れていないか。	A=薄れていない、B=一部薄れている、C=薄れている	判定	● A 継続実施（見直しは行わない） ○ B1 事業規模の拡充 ○ B2 事業規模の縮小 ○ B3 事業内容の改善・見直し ○ B4 その他の見直し ○ C 休止（隔年実施などへの変更） ○ D 廃止（終期の設定等を含む）	判断理由 公共下水道、漁業集落排水整備事業などの集合処理地域以外の者に対し、合併処理浄化槽の整備のため、工事費の一部助成を行うことで、し尿等の適正な処理ができ、生活環境の改善及び公衆衛生の向上に寄与している。
	②事業を民間（NPO、市民、ボランティア等）に実施させることはできないか。	A=市以外での実施困難、B=一部民間で実施可能、C=民間で実施可能 不可能である。	A		
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や、環境の変化に適応しているか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 適応している。	A		
有効性	④成果指標を達成するために、最適な事業内容となっているか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 合併処理浄化槽の整備のため、工事費の一部助成を行うことで、生活環境の改善及び公衆衛生の向上に寄与している。	A	今後の課題及び改善策、見直しの状況・方針 浄化槽設置の要望はあるが、景気の動向に左右されたり、高齢者や独居世帯においては、必要とされているが設置に至らない場合もある。また、浄化槽の機能について、設置者の周辺住民の認識不足があるため、浄化槽について正しく理解されるよう啓発に努める。生活環境の改善及び公衆衛生の向上を目指して更なる推進を図る。	総合判定 意見等
	⑤事業対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか。受益者負担等は適切か。使用料等の見直しの余地はないか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 公共下水道、漁業集落排水整備などの集合処理地域以外の者を対象としている。	A		
	⑥事業の効果をさらにあげる余地はないか	A=効果向上の余地はない、B=一部検討の余地がある、C=検討の余地がある 壱岐市独自の補助金嵩上や、県費補助金減額分を負担しており、財政的負担の見直しは困難である。	A		
達成度	⑦事業は当初計画どおり実施され、成果指標が達成されたか。 ※成果指標と連動させること	A=全ての指標達成、B=一部未達成、C=達成しなかった 景気の低迷、消費税の負担増により、設置要望者の数が伸び悩んでいる。	A	【評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況】 ① <input type="checkbox"/> 事業費縮減（事業の見直し）      ② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減 ③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加      ④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持（事業内容の拡充）	
効率性	⑧事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか。 ※活動指標と連動させること	A=得られている、B=一部得られていない、C=見直しが必要 現行の体制で努力している。	A		
	⑨必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか。	A=現行以上の手法はない、B=一部検討の余地がある、C=検討の余地がある 補助金交付要綱に沿って業務を行っている。	A		
	⑩類似・重複した事業や国県施策はないか。組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか。	A=改善の余地はない、B=一部改善の余地がある、C=改善の余地がある 循環型社会形成推進交付金、長崎県浄化槽設置整備事業補助金を活用して事業を行っている。	A	総合判定 意見等	
判定平均点（3点満点） A=3、B=2、C=1、空白=0として換算			3.00		